



令和5年を振り返って

校長 三浦 利信

令和5年が終わろうとしています。今年の干支は卯（うさぎ）でした。卯年の意味としては、諸説ありますが卯（うさぎ）が飛び跳ねる姿から「飛躍」、「向上」の象徴とも言われ、芽を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年という意味もあるそうです。

令和5年の羽村一中は、3月に208名の卒業生を送り出し、4月に179名の新入生を迎えました。今年最大のニュースと言え、5月8日に新型コロナウイルス感染症が感染症法5類に移行されたこととなります。3年間続いた感染症対策も一区切りを迎えました。羽村一中の教育活動も大きな転機を迎え、5月の3年生修学旅行や8組校外学習、6月の2年生校外学習、10月の1年生校外学習と、公共交通機関を利用した班行動が実施できました。また、2年生の職場体験も4年ぶりに実施することができました。

多くの活動が再開できた中で、例年冬場にピークを迎えるインフルエンザが、夏休み明けから感染拡大し、保護者の皆様にも感染症対策にご協力いただきましたが、1年生を学年閉鎖にすることになり、全校でコロナ禍前の体育大会の復活実施できなかったことは大変残念でした。

話は変わりますが、公益財団法人日本漢字能力検定協会が、1年の世相を表す漢字一字を全国から募集し、1位から20位までの漢字を12月12日に発表しました。「今年の漢字®」の第1位は「税」でした。振り返ると増税や定額減税、ふるさと納税など、税に関する話題が多かった1年でした。また、原材料費等の高騰から値上げラッシュが続き、物価上昇は、学校の教育活動にも影響がありました。稚拙ですが「税」の字を筆ペンで書いてみました。個人的には、コロナ禍で見送りとなっていた多くのことが再開されたことから、「開」を応募してみましたが、残念ながらベスト20にも入りませんでした。



さて、令和6年は「辰」年です。辰（龍）は十二支の中では唯一の架空の生き物です。権力や隆盛の象徴とも言われ、出世や権力に大きく関わる年といわれるそうです。出世とは意味合いが変わるかも知れませんが、羽村一中生も大きくレベルアップできる年を迎えて欲しいと思います。

学校評価保護者アンケートについて

お忙しい中、羽村市学校アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

昨年度よりインターネットによるWeb回答をお願いしておりますが、今年度は全校で60.2%の保護者方にご回答をいただき、昨年度の回答率を大きく上回りました。

アンケート結果につきましては、全体的な傾向を学校だより1月号に掲載させていただきます。また、自由意見としていただきました内容についても、学校として真摯に受け止め、改善を進めてまいります。